

# 緑の相談所だより

{12. 1月号 ~1992. 11. 30~ 発行・編集 旭川市緑の相談所}

今年も、あとわずかで新しい年を迎える季節になりました。冬支度はもうお済みになりましたか？これからは暖かいお部屋の中での仕事が多くなりますね。  
クリスマス、お正月と行事もかさなります。駆け足で過ぎて行く師走、来客と外出の機会が増える1月、健康に留意して毎日を大切におくりましょう。

## 講習会のお知らせ

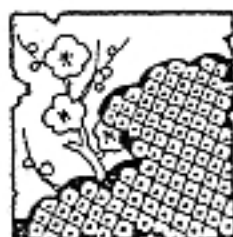
はじめまして

どうぞよろしく!

年末・年始をかざる  
鉢花の管理

- ◇ポインセチア、シクラメン、アザレア、プリムラなど
- ◇正月に梅を咲かせるコツ

日時…12月13日(日)  
午後1~3時



講師…旭川市緑の相談所相談員  
村田正一

参加料→無料

定員→50名



お申し込み・お問い合わせ

旭川市緑の相談所 ☎ 65-5553

10月23日エゾリス2頭が旭山動物園から、この神楽岡公園にやってきました。リス小屋で活発に動きまわっており、クルミを両手でかかえ、



くるくると回すしぐさはとても愛くるしいものです。エサ(ヒマワリ、カボチャの種、クルミ:よく乾燥させて;など)を届けていただけるとうれしいです。ささやかな記念品を用意してありますのでよろしく……

# 季節の花ことば



なんてん(南天)・・・私の愛は増すばかり  
 「難を転ずる」の意味があるので、庭に植えるとお金に不自由しないとか、福を招くなどといわれ祝事の床に生け、重詰などの進物にその葉を添える習慣もある。この木で作った箸を使うと中風にかからないとか。しかし南天といえば、やはりあの赤い実が思い出されるでしょう。雷うさぎのかわいい目もわすれられません。

## お正月を飾るリース ..... 「餅の籠」より.....

用意するもの

- (1) 短い枝約30cm×2本  
 マツの小枝  
 長い枝約50cm×2本



実ナンテン



ナンテンの葉

針金 (緑紙巻24番)

水引 (90cm×5本)

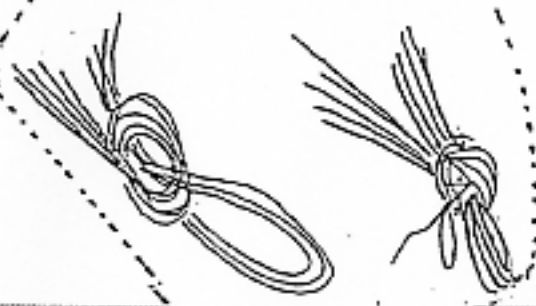
- (2) 短い枝  
 長い枝  
 針金で2か所ずつ留める

- (3) 2で作ったものを交差させ、上と下各々2か所針金で留める。

- (6) 5で作った水引を針金でリースに結び付けて出来上がり。



- (5) 水引で飾りを作る。



銀色部分で2つ輪を作り、金色部分その中に通して針金で留める。ここに下げ手をつける。

- (4) ナンテンの葉と実ナンテンをリースの上部左右に置き針金で留める。



## 年末、年始を飾る鉢花の選び方

旭川市緑の相談所相談員 村田 正一

鉢花で年末、年始を明るく飾りたいものですが、なるべくいい株を求めないと長持ちしません。園芸店を何軒か回って次のようなことに気をつけて選ぶといいでしょう。

### ■ポインセチヤ

- (1) 葉柄が短く、茎がしっかりしていて、しかも葉が下までついているものを選びます。下葉の落ちたもの、黄色くなったものは避けましょう。
- (2) 苞（ホウ、赤い葉のこと）の色は赤が一般的ですが、白や白とピンクの斑のものもあります。品種が色々あって赤でも色あいや濃さ、大きさなどがそれぞれ違いますから好みのものを選ぶといいでしょう。

苞の色が鮮やかで、くすんだりあせたりしていない株を選びます。

- (3) 花は苞の中心に目立たない小さな丸い粒々についています。花がまだ若く生々している株を選びます。
- (4) 低温に弱いので寒い所にさらされている株は避けます。寒さに合うと葉を落としてしまいます。持ち運びの時も寒さに合わせないよう気をつけて運びましょう。

### ■シクラメン

- (1) 店先で寒風にさらされている株は避けましょう。
- (2) 葉数が多く、葉の大きさがそろっていること、葉群を手のひらで押してみても弾力のあるのはいい株です。葉に弾力のない株は長持ちしません。

また、葉が黄色味を帯びたり、裏側にまくれたり、花や葉に斑点のついたものは病気や害虫のおそれがありますから避けましょう。

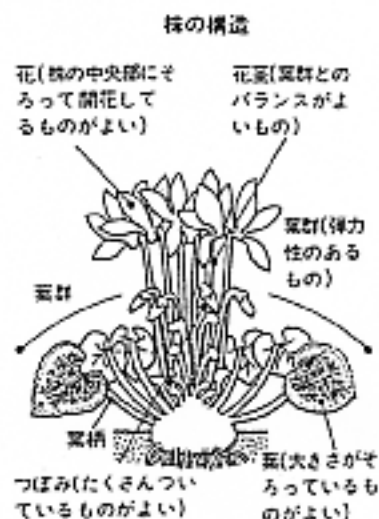
- (3) 花茎が太く、葉群とのバランスのよいものを選びます。花茎は葉群の上からひとこぶし分くらい出てしかも中心にそろって咲いているものがいい株です。

### ■プリムラ

- (1) 葉数が多く、葉色がよく、葉肉が厚く、よくしまった株を選びます。
- (2) 株がふらつくのは根張りが悪いのでいい株ではありません。
- (3) 黄色味を帯びた葉、傷んだ葉、斑点のついた葉のある株や弱々しく徒長した株は避けます。開花している茎の外に、株元につばみたくさんある株を選ぶと、つぎつぎと花が上がって多くの花を長く楽しむことができます。

### ■気をつけること

- (1) どの種類もガラス越しの日光にできるだけ当ててください。
- (2) ポインセチヤは温かい所に置き、シクラメン、プリムラは人間が少し寒いかなと思う温度が適当です。
- (3) 水は鉢土の表面が乾いたらたっぷり与えて下さい。
- (4) 週に一回、1000倍の液肥を与えてください。



## 冬囲いの再点検

旭川市緑の相談所相談員 小島 博昭

旭川にも本格的な冬がやって来る季節になりました。

今年の冬は、雪が多いのか、寒さがきびしいのか気になるところですが、どちらにしても庭木類が雪の中で越冬することには間違いないことですので、せっかくの冬囲いが結果的に役にたたなかったということのないように、積雪前の再点検をし、やり直す所（縄がゆるんだり、はずれたり）があればもう一度やり直すようにして下さい。

冬の季節風は山間部、平野部に雪を降らせる結果となりますので、これからの気象情報には注意を払い、庭木類に損傷のないよう春の時期まで見守ってやるのが大切です。

### ◎冬囲いの手なおし

雪がつもったり、とけたり、あるいは霜柱の凍上、強風等で冬囲いの縄目がほどけかかったり、ほどけてしまったりすると、逆に庭木類に損傷をあたえる結果となったり、むき出しになることとなりますので、冬囲いをしたのであれば効率的に作用するよう手なおしすることが大切です。

軒下、あるいは通路、道路に面した庭木類は雪の害（圧雪、枝抜け、凍傷等）に常にさらされることとなりますので、庭木類をこの種の害から守るための冬囲いが大切です

